

日曜日は教会へ行こう。

教会活動の中心は、日曜日ごとに行われる「主日(シュジツ)礼拝」です。特に毎月第一日曜日は「聖餐(セイサン)礼拝」と呼ばれ、信徒は「パン」と「ぶどう酒」を受け、主イエス・キリストとともに食卓につくのです。それは「最後の晩餐」の追体験でもあります。

< 聖餐礼拝のプログラム例 >

前奏	
初めの歌	教会讃美歌 176
開会の部	礼拝式文9頁
み言の部	礼拝式文 11 頁
主日の祈り	
聖書朗読	エレミア書 11:18-20 ヤコブの手紙 4:1-10 マルコによる福音書 9:30-37
み言の歌	教会讃美歌 389
説教	『子どもを受け入れる者』 田中牧師
信仰告白	ニケア信条(礼拝式文12頁)
奉献の部	礼拝式文 13 頁
奉献の祈り	
聖餐の歌	讃美歌21-81
聖餐式	礼拝式文 14 頁
主の祈り	礼拝式文 15 頁
派遣の部	礼拝式文 17 頁
教会の祈り	箱舟保育園の働きを覚えて
祝福	礼拝式文 18 頁
派遣の歌	讃美歌21-418
後奏	

礼拝は
毎週日曜日
10:30~

讃美歌

ルターが、「(讃美歌は)会衆がおこなう説教」と呼んだように、讃美歌は礼拝をより豊かなものにするものとして、大きな役割を持っています。「音楽は神からの賜物」と考えるルーテル教会だったからこそ、J.S.バッハのような優れた音楽家を輩出したといえます。

礼拝式文

ルーテル教会では、礼拝を 1)開会の部、2)みことばの部、3)奉献の部、4)聖餐の部、5)派遣の部の五つの部門に区分しています。礼拝は神との交わりですから、神の会衆への語りかけと、それに対する会衆の祈りと讃美による応答という形式で進行します。

聖書朗読と説教

礼拝のクライマックスともいえるのが聖書朗読です。特に第三の朗読である福音書朗読は、主イエス・キリストが、聖書のみことばとして、会衆に直接語りかけるという意味があります。そして、その日の聖書箇所を、牧師が説き明かすことが説教です。

祈り

礼拝は、神への「感謝の祈り」を捧げるものでもあります。「主日の祈り」、「奉献の祈り」、「主の祈り」、「教会の祈り」などが、礼拝の中で捧げられます。主イエス・キリストを信じる者にとって、「祈り」は信仰生活の中心をなす、非常に大切なものです。

教会はいつでもあなたを歓迎します。

教会の礼拝に出てみたいけど、ちょっと敷居が高そう。ご安心ください。最初は誰でも不安を感じるものですが、少しでも勇気を出して教会の扉をお開けください。初めての方にはサポートがつきますし、もし、一人で静かに参加したいと思われる方は、受付でおっしゃってくだされば結構です。

